

☆ 正しい情報を発信し、安心と信頼の向上に取り組む ☆

新春を迎え、全国の組合員・役職員各位をはじめ、関係業界、団体各位のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げるとともに、平素の温かいご協力に対し、衷心より感謝の意を表するものでございます。

昨年度は国内外に拘わらず様々な出来事や事件に揺れ動いた年でありました。長期化するロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加えて、エネルギーや食料品等の価格が円安の影響で上昇し続けているため、日本経済は厳しい状況に直面しております。このような環境下で、多くの中小企業・小規模事業者においても厳しい経営環境にさらされた1年でした。

また、台風や集中豪雨などの自然災害が全国各地で発生するなどし、尊い人命や貴重な財産が失われるなど人々の生活に甚大な被害をもたらしました。被災された組合員には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

一方、生協事業に関連のある保険業界を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、主に人口の減少、人口構成の変化による生命保険ニーズの変化、新規参入の増加、販売チャネルの多様化、グローバルな規制環境の変化等により、経営戦略はこれまで以上に顧客重視のスタンスで、新たなビジネスモデルを創造することが求められています。

また、近年、国内外で人や物に大きな被害や損害を与える自然災害への意識が高まっています。自然災害は保険事業にとって大きなリスク因子である一方、備えとしての保険に対する需要はますます高まっており、保険会社は高度なリスク管理の下で社会的使命に添えていくことが求められています。

こうしたなかで本年は、共済の理念・目的や存在意義・役割を今日的な視点で確立し、正しい情報を発信して、組合員の理解と信頼を深めることが重要だと考えています。職員のレベルアップや組合員への情報発信の充実に努めるとともに、共済事業を行う団体にとって最も重要視される「安心と信頼の向上」に取り組んでまいります。酒類小売業界は誠に厳しい状況下にはありますが、本組合の共済事業は、消費生活協同組合が理念とする相互扶助を事業運営の原点とした優れた社会価値が存在するものであります。つきましては、共済事業が果たしてきた役割と重要性を認識いただき、一人でも多くの方の組合事業への参画を切に望みます。

本年も、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。